

第50回木津川市地域公共交通総合連携協議会における
書面決議の結果報告について

<協議会委員> (■…書面決議書回答者 □…書面決議書未回答者)

【学識経験者】

■中川 大 (副会長) ■大庭 哲治委員

【市民代表】

■杉本 美保委員 ■長野 博行委員 ■福本 桂子委員

■神野 勝三郎委員 ■大村 裕信委員 ■平田 克子委員

■行衛 満委員 ■中島 英一委員

【事業者】

■梅澤 浩二委員 ■奥辻 芳博委員 ■米田 佳弘委員

■津田 秀夫委員 ■足立 高広委員 ■大江 正泰委員

■梅田 幹夫委員 ■加藤 隆委員 ■霜永 勝一委員

【行政機関】

■岩崎 靖彦委員 ■永見 晃之委員 ■澤田 晋治委員

■春名 靖弘委員 ■岡島 永治委員

■河井 規子会長 □田中 達男委員 ■福田 訓男委員

<協議事項>

- ①第2次木津川市地域公共交通網形成計画（案）について
- ②令和2年度予算（案）について

<決議日>

令和2年3月24日

<協議結果>

- ①第2次木津川市地域公共交通網形成計画（案）について
回答者数26名 賛24名、否2名、無効0名
賛成多数により承認することとなった。

- ②令和2年度予算（案）について
回答者数26名 賛25名・否0名・無効1名
賛成多数により承認することとなった。

書面決議に係る意見及び事務局の回答について

①第2次木津川市地域公共交通網形成計画（案）について

番号	意見等（要約）	事務局の回答
1	<p>パブリックコメントの意見は少数ではあるが、的を射た意見もあり、今後の参考にしてほしい。</p> <p>高齢化の進む市の状況から、通院や買い物に配慮した施策が必要だと思う。特に南加茂台地域は喫緊の課題である。また、高の原地域から木津高校に通学できるよう、高の原駅～木津駅間の運行時間を早める必要があると考えている。</p> <p>運賃については、70歳以上は半額（100円）にすれば利用者は増えると思う。</p> <p>市の内部での連携強化をお願いする。</p>	<p>計画の修正につながらなかったパブリックコメントのご意見については今後の参考といたします。</p> <p>また、ご意見の施策については、第2次計画に記載した取り組みを進めていく上で、協議会でご議論いただき、必要に応じて検討・実施してまいりたいと考えています。</p> <p>なお、朝・夕の通学時間帯おける高の原地域～木津駅間の運行については、奈良交通(株)の路線バスが運行しており、公共交通日より等で高校生に利用いただけるよう周知してまいります。</p>
2	<p>利用者が減少し続けている現状に鑑み、改善の必要と考えられる運行ルートの見直しについて、「5.3 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」における「コミュニティバス新規実証運行の流れ」に基づくとしたことは消極的ではないのか。</p>	<p>前回の協議会でもご議論いただきましたとおり、コミュニティバスの実証運行については、地域組織の形成や運行協力等が必要不可欠であり、新規路線が地域全体の要望となるよう一定の基準を定めています。</p> <p>なお、地域組織の形成や利用調査、運行計画の立案等はワークショップなどを通じ、木津川市も協力して進めてまいります。</p>

3	<p>高齢化の進む南加茂台など地域ごとの課題解決が明確にされていない。その他にも、広域・柔軟な視点での見直し、改善の取り組みをもっと積極的に進めていくべきだと思います。</p>	<p>第2次計画の策定後、本協議会での議論をいただきながら計画に基づき施策・取り組みを進めてまいります。</p>
---	--	--

②令和2年度予算（案）について

番号	意見等（要約）	市の回答
1	<p>交通事業者との委託契約はどうなっているのか。委託料が予算計上されていない理由は。</p>	<p>コミュニティバスについては、協議会で決定した内容（運行ルート・本数等）を受け、木津川市が事業者と運行協定を締結し、事業者がその協定に基づき運行しています。そのため、協議会としてではなく、市の一般会計に計上しています。</p>

③その他

番号	意見等（要約）	市の回答
1	<p>第2次計画の最終案を書面決議にて議決するのはいかなものか。補助金申請等の理由があるのであれば、猶予を申し出るなど手段もあったのではないか。</p>	<p>政府のコロナウィルス感染拡大防止要請に基づき、やむなく会議の開催は中止といたしました。書面決議においては各委員の計画に対する賛否・ご意見を確認させていただいた上で決定してまいります。</p> <p>また、本計画の策定にあたっては、5回の協議会での議論や段階的に決定いただいた骨子案・パブリックコメント案を基に決定するものです。</p> <p>なお、運輸局から補助金の申請の延長については、認められないとの回答を受けております。</p>

2	<p>3月に路線バスの加茂線が減便となったが、減便についていつ決まったのか。サービスレベルの維持の要請は当然のこととして、路線継続に向け利用促進に努めるとはだれに対する言葉なのか。</p>	<p>事業者ヒアリングにもあるとおり、利用者がいないとサービスレベルを維持することは困難です。市行政としては、今後も引き続き地域や利用者の皆様へ利用促進を図っていくとともに、サービスレベルの維持を運行事業者へ要請してまいります。</p>
---	--	--